

2025年12月10日発行

東海生研～メールマガジン 第252号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2025年度「知」の集積による産学連携推進委託事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」

『本日、開催いたします！！ 13時から会場展示、ポスター展示をしています』

【開催場所】名古屋大学 野依記念学術交流館

名古屋市千種区不老町 地下鉄 名古屋大学駅下車 2番出口 徒歩5分

【開催日時・プログラム】

★会場展示

2025年12月10日（水）野依記念学術交流館 1階

13:00—13:20 開会式

13:20—17:00 ・ブース展示、ポスター展示

企業、高校、大学、公設試、行政など

出展機関の出展内容の紹介を東海生研 HP に掲載します。（12/10～1/16）

技術相談（事前予約制）

入場は無料です。

★シンポジウム・発表会

2025年12月11日（木）野依記念学術交流館 1階

10:00—12:00 東海4県農業関係試験研究機関

テーマ「気候変動に対して取り組んでいる農業分野の研究開発」

静岡県農林技術研究所、愛知県農業総合試験場

岐阜県農業技術センター、三重県農業研究所

13:00—15:00 東海生研第4回セミナー（成果発表会）

岐阜県立岐阜農林高等学校、愛知県立安城農林高等学校（動物科学科・

フラワーサイエンス科）、名古屋大学大学院生命農学研究科、

カゴメ株式会社 小牧工場、ジャパンドームハウス株式会社、

下村農園（JA 西三河）、三河一色めすうなぎ研究会

★開催方法：ハイブリッド開催（会場参加+オンライン参加）

オンライン配信は Zoom Webinar で運営します。

定員：会場参加 70名 オンライン参加 300名

申込み：参加方法（会場参加・Web 参加）を明記の上、

nomuramtokai@gmail.com (*を@に変えてください)

事務局にメールでお申込みください。

件名は「アグリビジネスフェア in 東海 発表会」としてください。

★Web 展示 2025 年 12 月 10 日（水）－2026 年 1 月 16 日（金）

東海生研 HP にて出展機関のデータ（映像、テキスト等）を公開します。

【主催】NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

【共催】東海 4 県農業関係試験研究機関 名古屋大学大学院生命農学研究科

東海バイオコミュニティ

【後援】農研機構 中日本農業研究センター JATAFF 三河一色めすうなぎ研究会

【チラシ】

<https://www.biotech-tokai.jp/biotech/wp-content/uploads/2025/11/2025%E3%82%A2%E3%82%B0%E3%83%AA%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A2%EF%BC%8D%E3%83%81%E3%83%A9%E3%82%B7%E7%A2%BA%E5%AE%9A%E7%89%88.pdf>

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆2026 年度「あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金（地場産業枠・農商工連携枠）」

あいち産業振興機構では、中小企業者等が行う地域資源を活用した新製品（商品）開発、販路拡大などの新事業展開を支援するため、「あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金」を実施しています。2025 年 12 月 8 日（月）（事前確認は 2025 年 12 月 1 日（月））より、2026 年度「新事業展開 応援助成金（地場産業枠・農商工連携枠）」の申請事業者の募集期間となります。

1 助成金区分

（1）新事業展開応援助成金（地場産業枠）

県内の地域資源を活用した新事業展開のために行う事業（主要地場産業[食料品（飲料・飼料含む）、繊維工業、家具・装備品、窯業・土石製品、伝統的工芸品産業 15 種類業種]

（2）新事業展開応援助成金（農商工連携枠）

県内の地域資源の農林水産物を活用して、あいち産業科学技術総合センターや愛知県農業総合試験場等と連携して行う事業

2 申込み・問合せ先

公益財団法人あいち産業振興機構 新事業支援部 地域資源活用・知的財産グループ

TEL 052-715-3074 E-mail info-chiiki@aibsc.jp

詳しくは同機構の Web サイトをご覧ください。<https://www.aibsc.jp/support/1182/>

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

（北海道）

・グリーンテクノバンク・アグリシーズセミナー「持続的な自給飼料生産に貢献する人工衛星による草地診断システムについて」

日時：令和 7 年 12 月 17 日（水）14:00～16:30

会場：北農ビル 19 階 第 2・3 会議室（北海道札幌市中央区北 4 条西 1 丁目）

内容：<https://agri-renkei.jp/2025/11/14/8299/>

(東北)

- ・東北ハイテク研究会セミナー 「『みどり戦略』を支える新技術の最前線：圃場健康診断・バイオステイミュラント・有機イチゴ栽培」

日時：令和7年12月15日（月）13:30～16:00

会場：いわて県民情報交流センター 会議室501（岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1）

形態：ハイブリッド開催

内容：<https://agri-renkei.jp/2025/11/04/8274/>

(中国四国)

- ・セミナー「畜産におけるアニマルウェルフェアと生産性の向上に向けたスマート技術開発の現状と未来」

日時：令和7年12月17日（水）13:30～16:30

会場：岡山コンベンションセンター（岡山県岡山市北区駅元町14-1）

形態：ハイブリッド開催

内容：<https://agri-renkei.jp/2025/10/10/8217/>

3. 2024年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆JST：「2025（令和7）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

☆NEDO：「2025年度 ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」

■民間等

☆公益財団法人サッポロ生物科学振興財団：「2026年度研究助成」

☆大麦食品推進協議会：「2026年度調査・研究助成」

2025年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。<https://www.biotech-tokai.jp/>

4. その他の情報

(1)新技術情報

☆食品関係

○食品に含まれる糖類は、単なる甘味成分としての役割にとどまらず、製品の物性（テクスチャーや粘度など）、保存性の向上及び消費者の健康リスクにも関わる重要な要素となっています。特に、食品に多く含まれている单糖類（グルコース、フルクトース）や二糖類（スクロース、マルトース）などは食品の加工特性に大きな影響を与えるため、これらの糖類の分析は食品業界において高い重要性を持っています。

食品工業技術センターでは、こうしたニーズに対応するため、主に高速液体クロマトグラフィー(HPLC)を用いて糖類の分析を行っています。2022年度には EXTREMA HPLC System(日本分光(株))が導入され、ポストカラム蛍光誘導体化法による糖類の高感度分析が可能となりましたので紹介いたします。

あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センターニュース 2025年11月号

☆稻作関係

○「コシヒカリ」に適用できる被膜のプラスチック量を削減した全量基肥栽培用肥料

[要約] 三重県の水稻「コシヒカリ」向けの新たな全量基肥栽培用肥料は、環境負荷低減を図るために、被膜に含まれるプラスチック量を削減した肥効調節型肥料を配合している。従来の県内「コシヒカリ」向け全量基肥栽培用肥料と同等の収量と品質を得ることができる。

[背景・ねらい] 水稻で使用される主要な全量基肥栽培向け肥料は、生育に合わせ成分を徐々に溶出させる必要があるため、プラスチックを含む被膜で被覆された肥効調節型肥料が配合されている。プラスチック被膜殻は栽培後も圃場に残存し、圃場外に流出すると環境への負荷が懸念されることから、肥料メーカーは、プラスチック量を削減した肥効調節型肥料の開発を進めている。そこで、県内の「コシヒカリ」栽培に使用されている主要な全量基肥栽培向け肥料2種類(A、B)について、肥料メーカーや農業関連団体と協力して収量と品質を維持しながらプラスチック量の削減が図れるよう改良を行う。

[担当] 三重県農業研究所・フード・循環研究課、伊賀農業研究室

・令和6年度三重農研成果情報<普及成果>

<https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm> (三重農研HP)

編集後記

二十四節気の大雪も過ぎて雪の便りも聞かれます。朝晩の冷え込みが厳しくなってきましたので、体調の管理に気を付けましょう。

さて、本年の「アグリビジネス創出フェア in 東海」は、本日と明日の12月10日～11日までの開催です。本日は企業、大学、高校、公設試などのブース展示、明日はシンポジウム、午後からは東海生研の第4回セミナー（成果発表）です。奮ってご参加ください。

皆様、この一年、本メールマガジンをご愛読いただき有り難うございました。来年もよろしくお願い申し上げます。どうぞ良い年をお迎え下さい。

=====《メールマガジンに関するお問い合わせは》=====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメールマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>